

別府市南立石一区の梶原和裁で働く高柳沙希さん(23)が、第48回技能五輪全国大会(10月、神奈川県)の和裁職種で2位となる銀賞に入賞した。「程よい緊張感で大会を楽しめた。尊敬されるような和裁師を目指したい」と話している。

同大会は、23歳以下の若手技能士の登竜門。県内から4種目に6人が出場し、入賞は高柳さんだけだった。和裁職種には全国から31人がエントリー。制

別府に勤務

高柳沙希さん

「プレッシャーもあったけど、前回より順位を上げられてうれしい」と高柳さん

限時間内に^{あわせ}袷長着を縫製して、仕立ての美しさを競った。

高柳さんは高校卒業後、和裁の世界に入った。高柳さんは高校卒業後、和裁の世界に入った。高柳さんは高校卒業後、和裁の世界に入った。

た。「仕上げた時の達成感が喜び」と和裁の魅力語る。同大会への出場は3回目。年々順位を上げてきた。「力

を十分にには出せなかった」と小差で金賞を逃した悔しさもにじませるが、「一級技能士の資格を取得して、一流の和裁師が集う全国大会でリベンジしたい」と新たな目標を掲げる。

梶原信義代表(59)は「厳しい指導にも持ち前の負けん気で乗り越え、結果を残してきた。よりレベルアップして後輩を引っ張ってほしい」と期待している。

「完成後の達成感が喜び」

を十分にには出せなかった」と小差で金賞を逃した悔しさもにじませるが、「一級技能士の資格を取得して、一流の和裁師が集う全国大会でリベンジしたい」と新たな目標を掲げる。

梶原信義代表(59)は「厳しい指導にも持ち前の負けん気で乗り越え、結果を残してきた。よりレベルアップして後輩を引っ張ってほしい」と期待している。

技能五輪和裁で銀賞